

# 2018年3月期 決算説明会

---

---

## 配布資料

2018年6月7日（木）  
株式会社パイオラックス  
代表取締役社長  
島津幸彦

# 目 次

1. 中期経営計画（2018～2020年度）
2. 業績推移
3. 今後の事業展開
  - － 1. 海外事業への取り組み
  - － 2. 取引先の多角化
  - － 3. 国内拠点リニューアル計画
  - － 4. 技術開発
4. 医療機器事業の現況と展望

## 1. 2020年度経営指標

経営目標	連結売上高	700億円
	内、海外拠点	473億円 海外比率: 68%
	連結営業利益	113億円 利益率: 16.1%
	内、海外拠点	69億円 利益率: 14.6%

## 2. 中期資本政策指標

	17年度(実)	18年度(見込み)	20年度
ROE	9.9%	8.1%	12%
連結配当性向	19.8%	22.4%	25%

## 3. 中計達成のポイント

身の丈7割で生き残る体質づくりの構えを維持(国内)

地域／商品／顧客／事業の多角化の更なる推進

北米／中国／アセアン3極のバランス良い収益構造構築

アジア／北米と医療事業で成長を、成長事業と単体で利益を創出する

# 中期経営計画 要約②

■ 計画の前提	国内	日系自動車各社は、2020年に向け安定成長基調 アライアンス/提携関係の実効開始、競争関係加速
	海外	日米欧は成熟路線、中国、インドなど新興国が全体をけん引 環境対応、CASE進行 リスク想定 (US関税、NAFTA条件、原材料&労務費高騰、Brexit、地政学)
	数値条件	世界全需 2018年9,560万台 (2017年比+2%)、2020年1億台へ 為替 1US\$=105円

## ■ 重点方策



# 中期経営計画 要約③

## 多角化推進戦略の目指す指標

地域

北米／アセアン／中国／欧州 = 3:3:3:1

商品

①成長戦略商品を海外OEM拡販につなげる  
成長戦略商品 : 成熟締結商品 3:7 ⇒ 4:6へ  
(燃料系・開閉機構部品) (ファスナー・駆動系・ハーネス部品)

②将来商品群(環境対応部品、自動化運転、安全対応部品)の構築

顧客

海外OEM向け販売比率 15%(100億円)目標

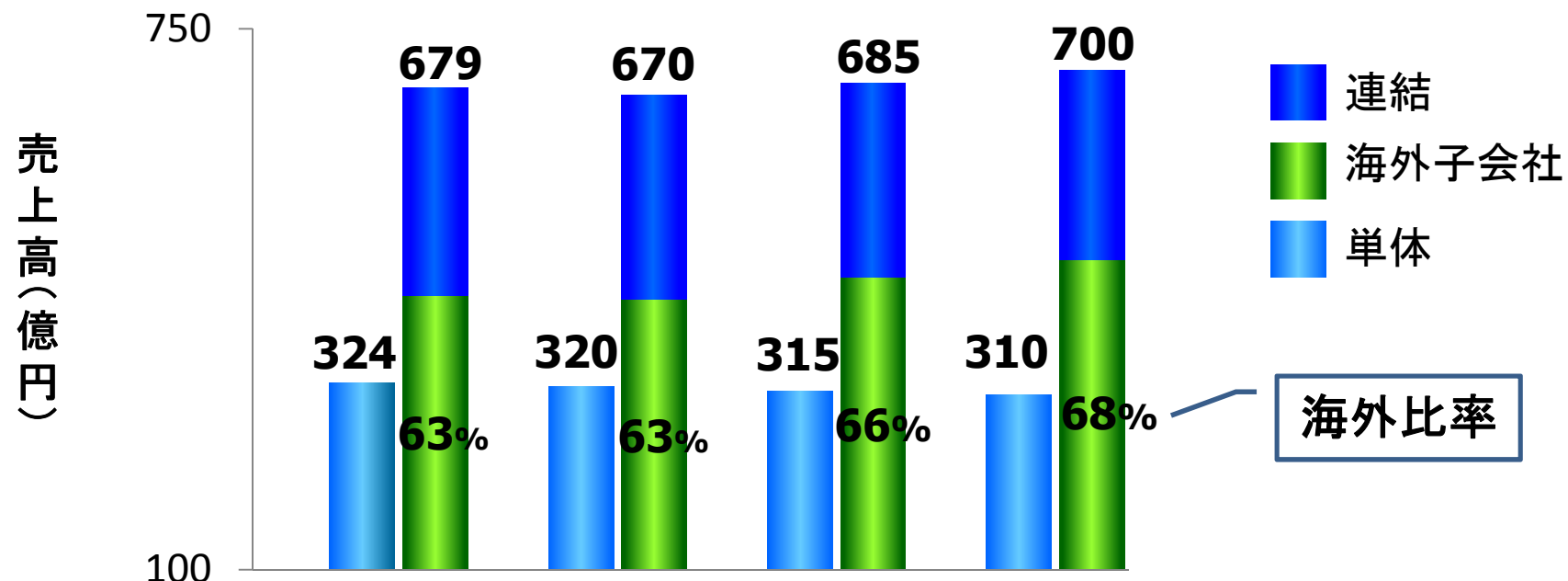
事業

医療事業構成比率 6%⇒10%目標

# 中期経営計画

(2018～2020年度)

# 中期経営計画 売上高

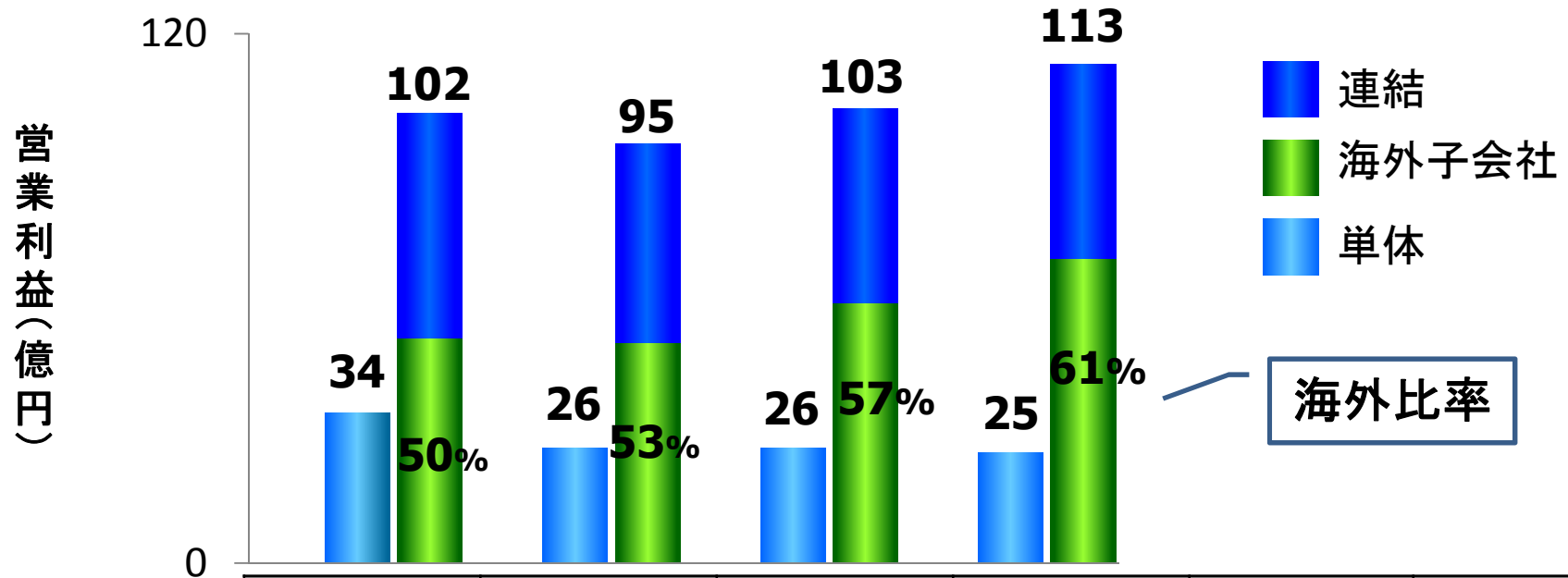


	2017 実績	2018 開示	2019	2020	伸び率 (20/17)	為替調整後 (参考)
連 結	679	670	685	700	+3.1%	+5.8%
海外子会社	430	425	451	473	+10.0%	+13.5%
国内子会社	104	105	107	108	+3.8%	-
単 体	324	320	315	310	△4.3%	-

\* 連結仕訳(内部取引)が内数にある

\* 1US\$=105円

# 中期経営計画 営業利益



	2017 実績	2018 開示	2019	2020	伸び率 (20/17)	為替調整後 (参考)
連 結	102	95	103	113	+10.8%	+15.5 %
海外子会社	51	50	59	69	+35.3%	+39.3%
国内子会社	9	9	10	11	+22.2%	-
単 体	34	26	26	25	△26.5%	-

\* 連結仕訳(内部取引)が内数にある

\* 1US\$=105円



# 中期経営計画 設備投資・減価償却

## 成長持続に向けた設備投資

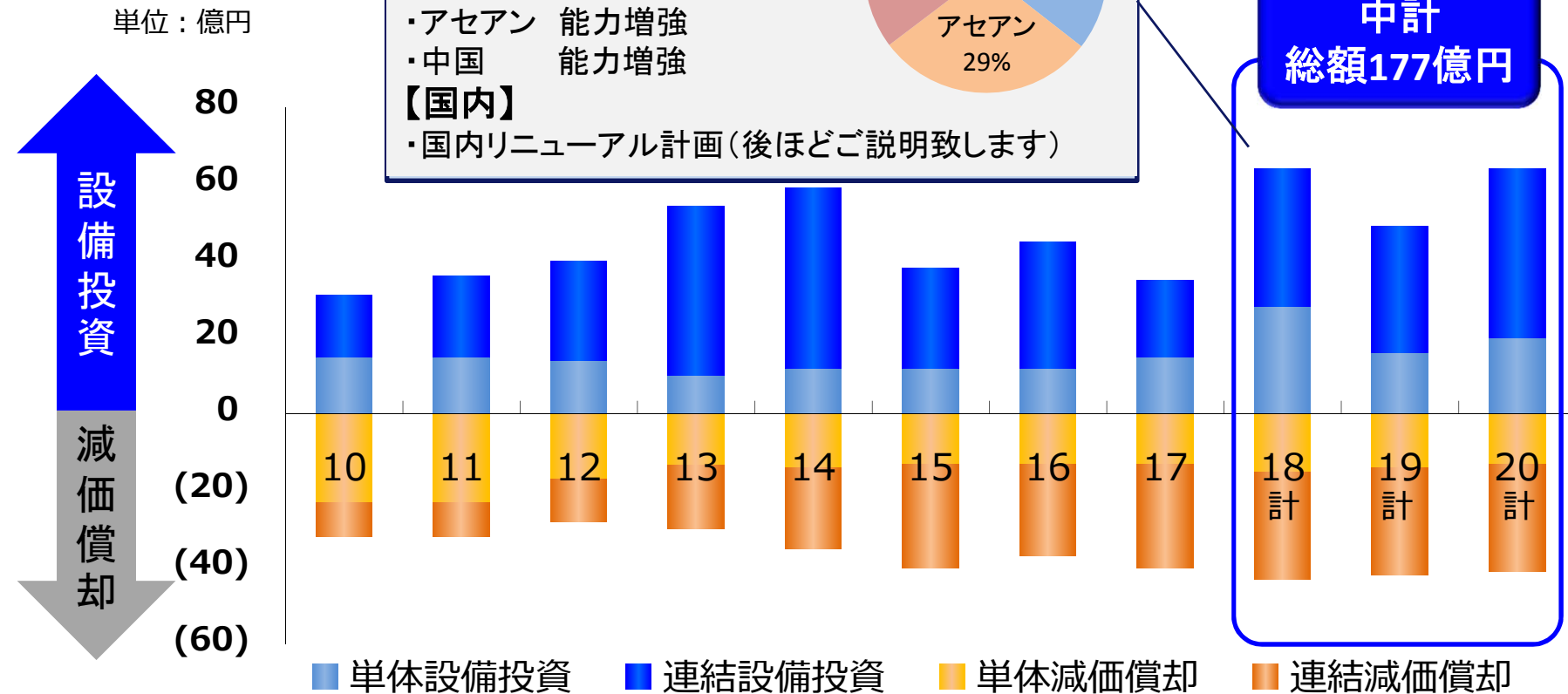
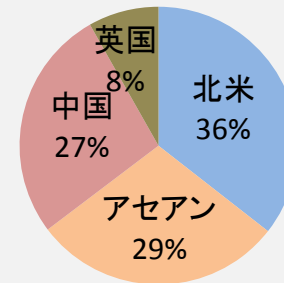
### 18年度主な投資計画

#### 【海外】

- ・米国 新熱処理炉建設
- ・米国 自動化など工場整備
- ・アセアン 能力増強
- ・中国 能力増強

#### 【国内】

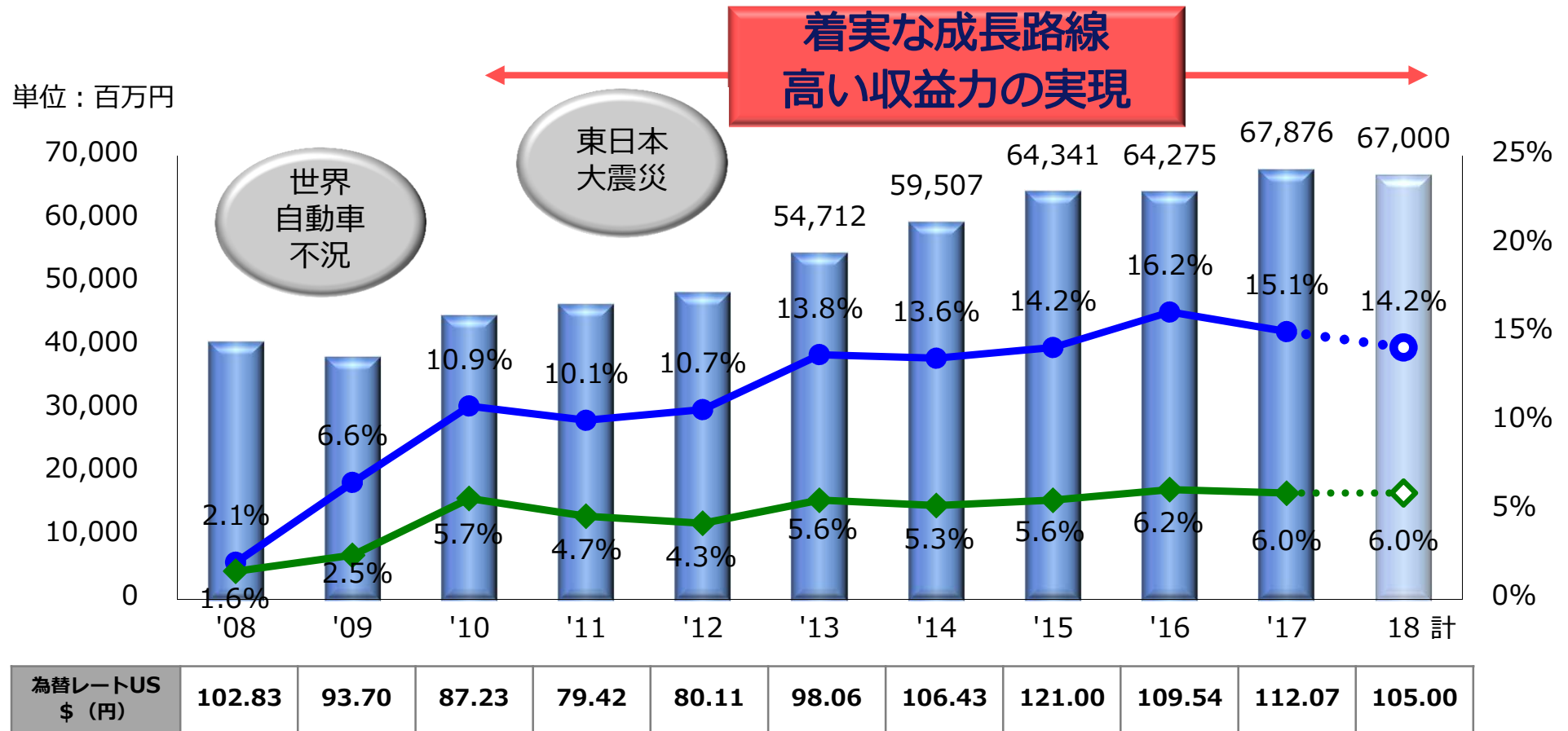
- ・国内リニューアル計画(後ほどご説明致します)



# 業績推移

# 連結業績推移

## 売上高・営業利益率推移（連結）



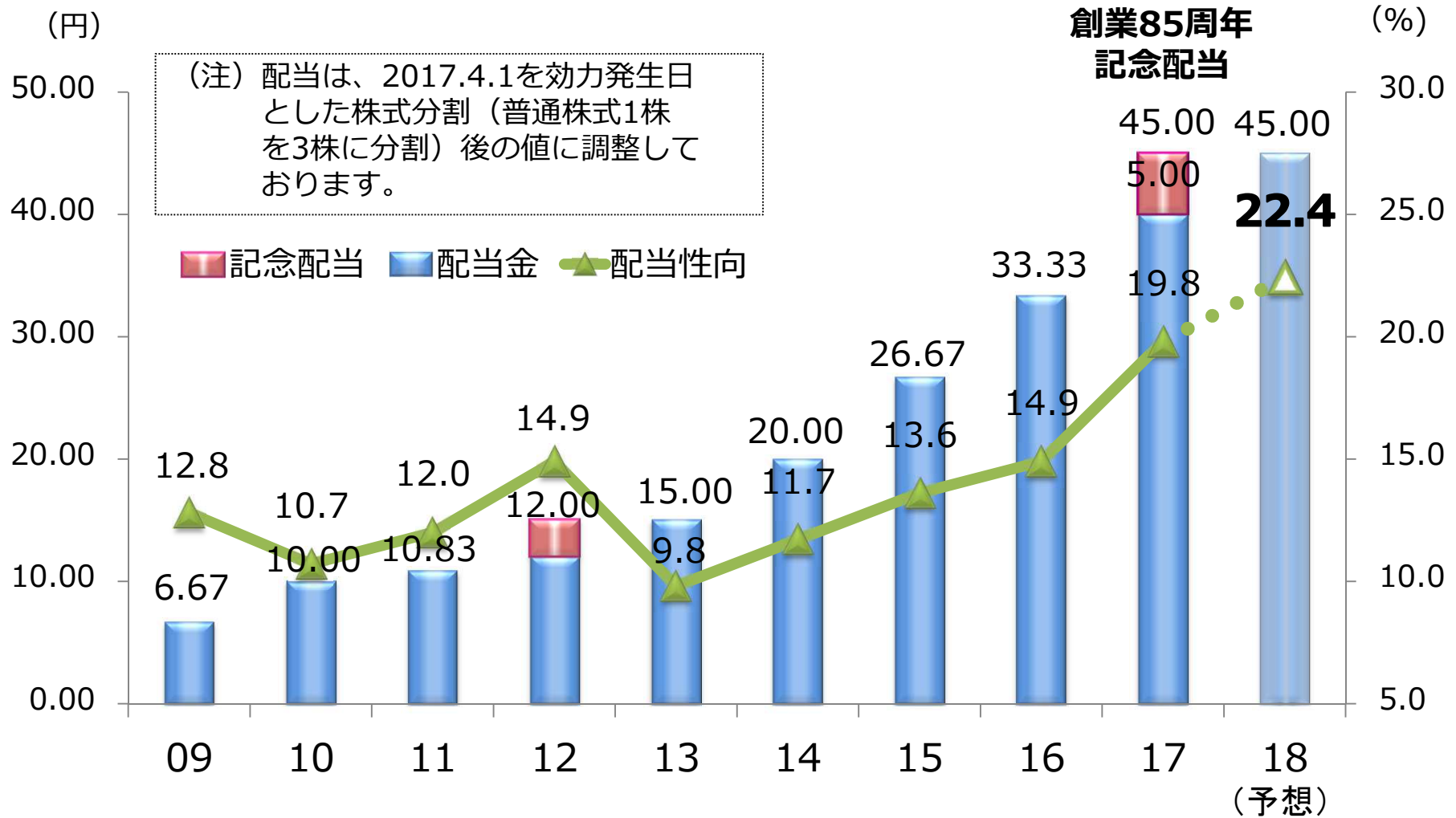
■ 連結売上高

● 連結営業利益率

◆ 自動車部品（上場）125社平均

# 株主還元

## 配当金・配当性向推移



# 今後の事業展開

## ①海外事業への取り組み

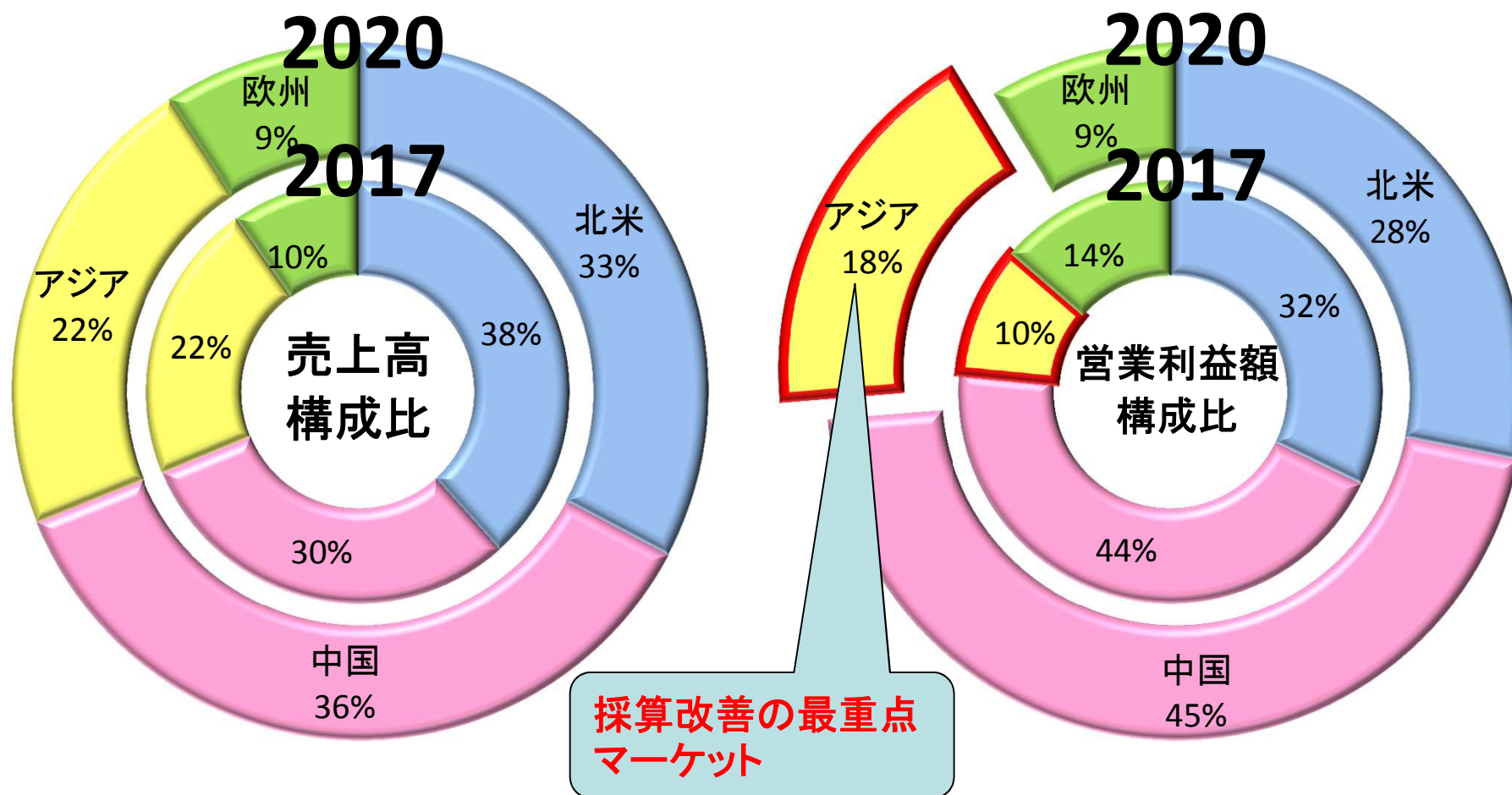
# 海外拠点





# 海外地域別売上/営業利益比率

北米、中国、アジアでバランス良く稼ぐ体質を目指して



# 2018年度 パイオラックス海外事業方針

世界市場の大変革をチャンスととらえ、ワン・パイオラックスを進化させよう

## 中国



- ◆ 欧・米・韓及び中国地場OEMへの拡販推進
- ◆ 増産に向け生産体制整備

## 欧州



- ◆ 開閉機構部品を中心とした欧州OEM拡販強化

## アセアン



- PASSOの機能拡充及び生産能力増強・拡大と拡販
- タイ: 生産性大幅改善・PASSOによる営業効率化
- インド: 売上拡大による黒字化
- インドネシア: 現調化拡大による黒字化
- 韓国: 現代グループのグローバル拡販

## 北米

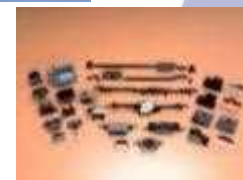


### 【米国】

- ◆ 米国Big3への拡販強化
- ◆ 現地化推進の継続

### 【メキシコ】

- ◆ 南米客先への拡販強化
- ◆ 生産性の向上



\* **PASSO**: Piolax **A**sean**S**trategic**S**ales**O**ffice(パイオラックス アセアン地域連合営業体制)



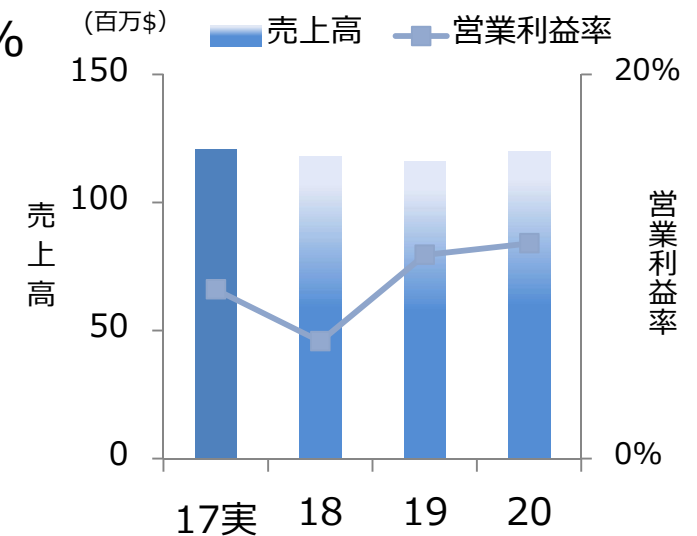
# 米国拠点の取り組み－1

## 現地化推進の継続

### 【中期経営計画目標】

- 2020年度売上高：17年度比△1%、営業利益率：11%
- 増産・現地化推進に向け、18年度に新熱処理炉稼動
- 現地化推進  
ホースクランプ／金属ファスナー／燃料系部品
- 拡販活動  
日産・ホンダ・GMに次ぐ第4の柱育成  
米国Big3＋現代向け拡販推進

### 売上高・営業利益率



### 現地化推進部品



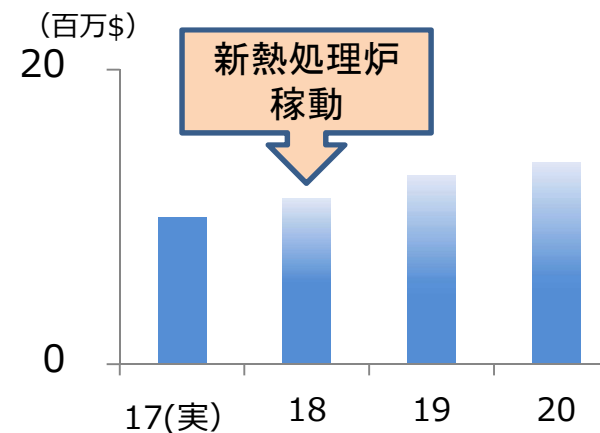
# 米国拠点の取り組み－2

## 金属部品の現調化体制強化

- ホースクランプ・金属系部品の現地化促進により、今後さらなる増産が見込まれる。
- 増産対応として、現有の熱処理炉1・2号炉に加え、新たに3号炉建設中。

増設内容	1・2号炉に隣接した建屋を新設し、3号炉を増設
竣工予定	2018年7月予定
総投資額	約2.6百万米ドル ・建屋増築 ・熱処理炉 ・その他設備導入等
処理能力	1号炉 50kg/h (既存) 2号炉 100kg/h (既存) 3号炉 100kg/h (新設)
新建屋	約400m <sup>2</sup>

ホースクランプ・金属系部品  
売上計画



新熱処理炉建設現場 2018年5月

# 中国拠点の取り組み

## 販売体制強化

### ■ 中期経営計画目標 2020年度

売上高：17年度比+30% 営業利益率：18%

### ■ 販売体制の強化

2016年 9月 上海営業所新設

2017年12月 天津営業所移転（拡張）

2018年度 広州営業所新設予定

### ■ 拡販強化

欧・米・韓および中国OEM

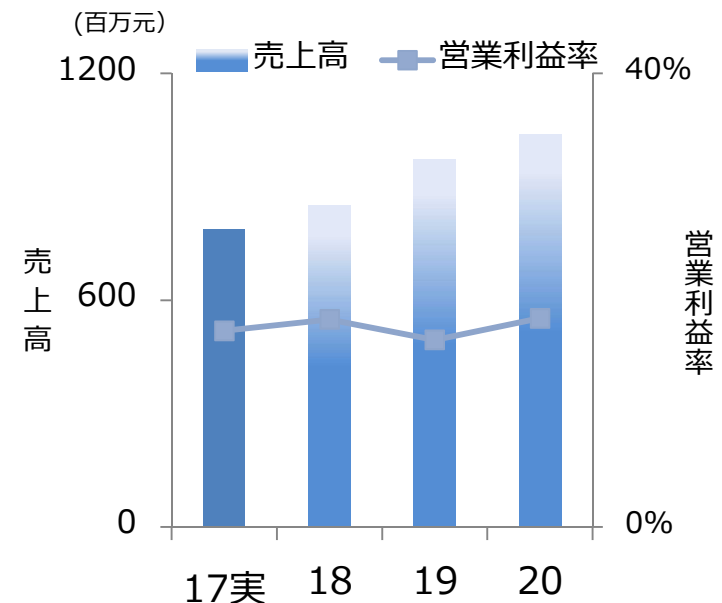
### ■ 中国環境規制に対応したビジネス展開

- ・ 燃料系部品拡販推進
- ・ 2K部品（後ほどご説明いたします）受注促進

### ■ 中国新エネルギー車への対応

新規に口座獲得したEV会社（シャハ°ン・リパ°オなど）拡販

### 売上高・営業利益率



上海事務所

# インド拠点の取り組み

## 黒字化に向けた取り組み

### ■ 中期経営計画目標 2020年度

売上高：17年度比+55%、営業利益率：15%

### ■ 2018年4月北インド営業所（デリー）の移転・拡張

### ■ 拡販活動

マルチスズキ・現代に加え、タタ・マヒンドラ・  
フォードをターゲットに活動。

### ■ 生産性向上活動

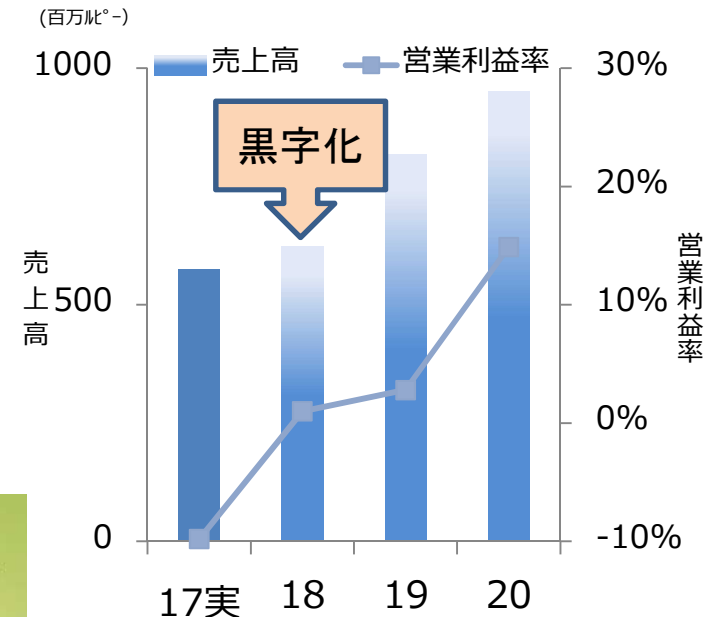
自動化生産の進む2ピースクリップ

### ■ 新規受注

- ・ インド 2 輪向け燃料系部品受注獲得
- ・ 環境規制対応部品（フューエルポンプモジュール・インジェクター 構成部品）



### 売上高・営業利益率



北インド営業所（デリー）

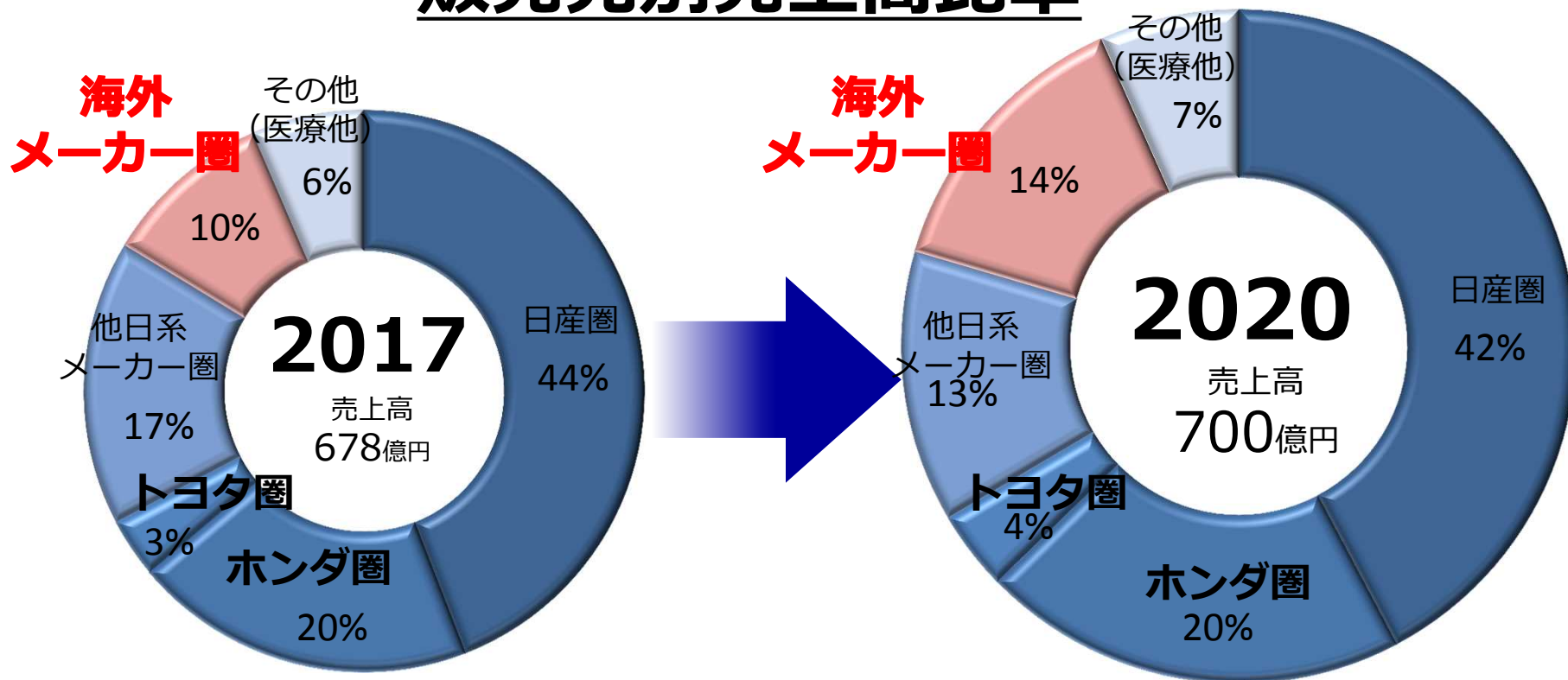
20

# 今後の事業展開

## ②取引先の多角化

# 取引先の多角化

## 販売先別売上高比率



- ◆ 日産圏売上は増やしなから、依存度を下げる。
- ◆ **海外メーカー**向け拡販拡大。
- ◆ ホンダ・トヨタ向けグローバル拡販の展開。



# 非日系メーカーへの拡販 - 1

## 米国BIG3への拡販

### ■ 開閉機構部品の確実な受注獲得

GM: 標準ラッチがグローバルに採用済み

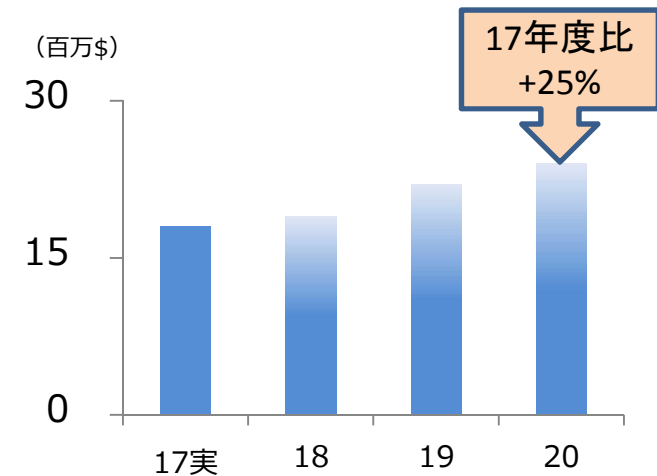
FORD: 開閉機構部品を中心に受注拡大

FCA: 北米メイン車種のRAMトラック新規受注獲得



FCAにて新規受注が決まった  
開閉機構部品  
ラッチ類 (グローブボックス装着)

### BIG3向け売上計画

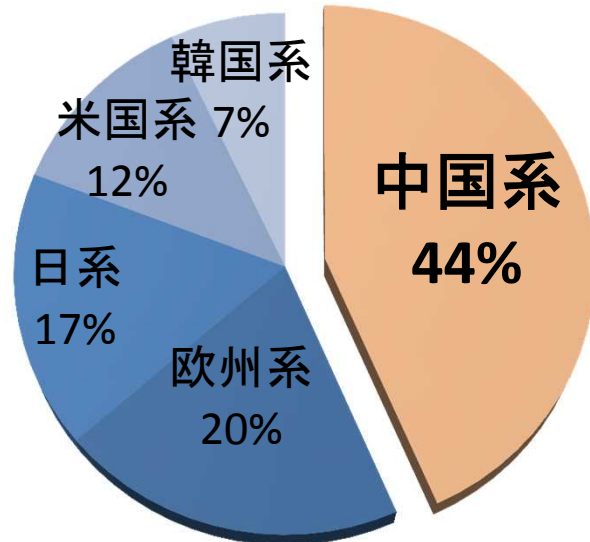


新規受注部品搭載  
FCA RAMトラック  
2018年1月発売  
売上拡大を狙う

# 非日系メーカーへの拡販 - 2

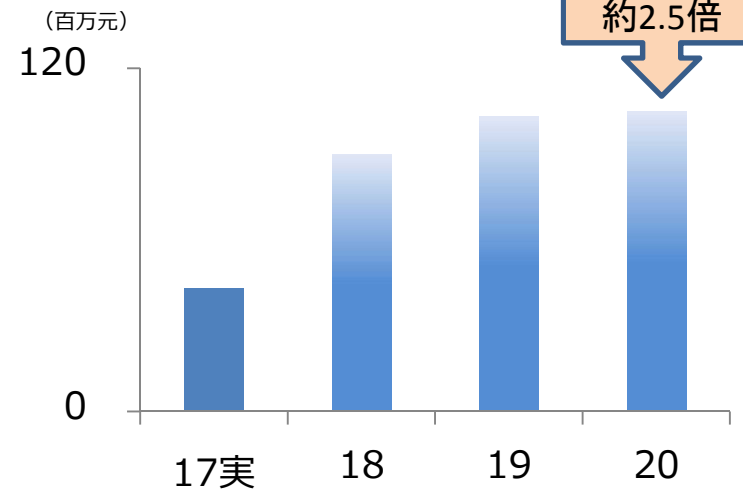
## 中国地場メーカー拡販

### 中国自動車市場国別シェア 2017



- 開閉機構部品を中心に、駆動系、ファスナー部品も拡販促進。
- EV会社受注獲得を足がかりに、EV参入を目指す。

### 中国地場メーカー向け 売上計画



### 拡販ターゲット 開閉機構部品





# レイモン社との提携

## 2017年10月 レイモン社（仏）との協力契約締結

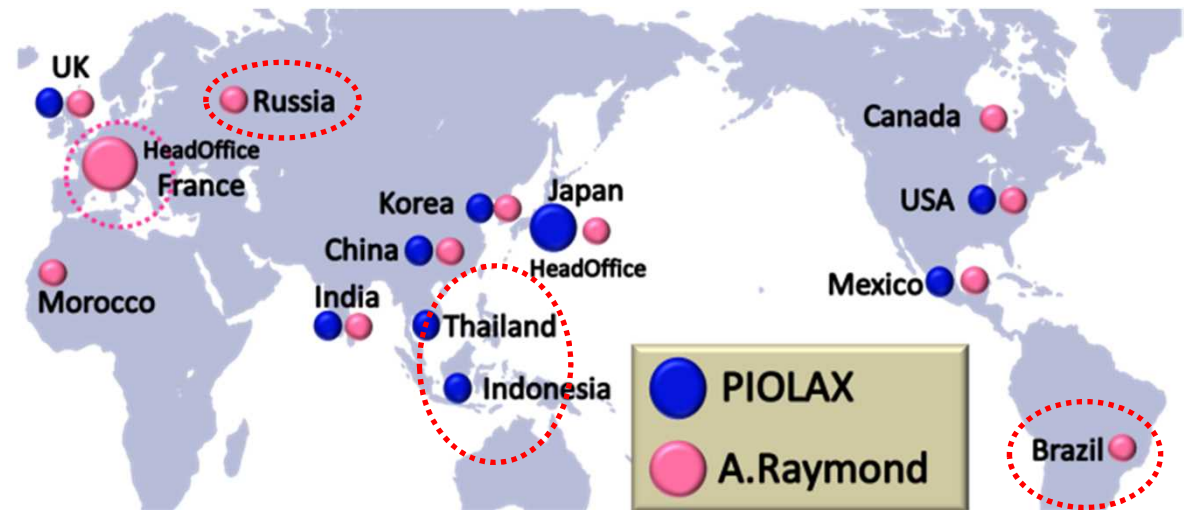
### 【契約の目的】

- 当社顧客要望である当社未進出地域でのビジネス拡大
- レイモン社経営資源を活用した欧米OEM拡販と全カーメーカービジネス拡大

### 【今後の主な計画】

- アセアン地区での協業
- ロシアでの協業
- 日産&ルノーへのPR活動
- その他地域（ブラジルなど）への協業

### パイオラックス & レイモン社 生産拠点



# 今後の事業展開

## ③国内設備投資 (国内拠点リニューアル計画)

# 国内リニューアル計画—1

## 横浜テクニカルセンターリニューアル

### 現テクニカルセンター概要

所在地	横浜市保土ケ谷区
設立	1962年（1号棟）
敷地面積	約7,000m <sup>2</sup>
建屋面積	約5,500m <sup>2</sup>
主な機能	設計・研究開発・購買・ ハイラックスメディカルデバイス一部

### リニューアル計画

- ・2017年12月に一時移転先となる横浜ビジネスパークのフロアの賃貸契約締結。
- ・2018年8月より移転開始予定。
- ・2022年新テクニカルセンター稼動予定。
- ・投資総額：約35億円（2018～2022年度）



現横浜テクニカルセンター

### 今後の流れ

2018年度	2019年度		2022年度
一時移転先への 移転 工事準備	新センター 工事開始	➔	新センター 完成

# 国内リニューアル計画ー2

## 真岡工場リニューアル

### 現工場概要

所在地	栃木県真岡市
操業	1970年
敷地面積	約31,000m <sup>2</sup>
建屋面積	約13,000m <sup>2</sup>
従業員数	286名
主な生産品	板ばね、クランプ、樹脂成形品、開閉機構部品

### 新工場計画

- ・ 2018年3月に新工場建設に向け、現工場隣接地（約33,000m<sup>2</sup>）の購入契約締結。
- ・ 同年4月にリニューアルプロジェクトチーム発足。
- ・ 国内生産縮小の環境下で、競争力を高めていくための新工場建設。
- ・ 投資総額：約40億円（2018～2023年度）



現真岡工場

### 今後の流れ

2018年度	2019年度		2023年度
土地購入	工事開始	➡	移転 新工場稼動

# 今後の事業展開

## ④技術開発

燃料系部品／開閉機構部品／EV関連

# 燃料系部品①

## 高まる「安全性」要求に対応する燃料系部品

### 燃料系部品の強み

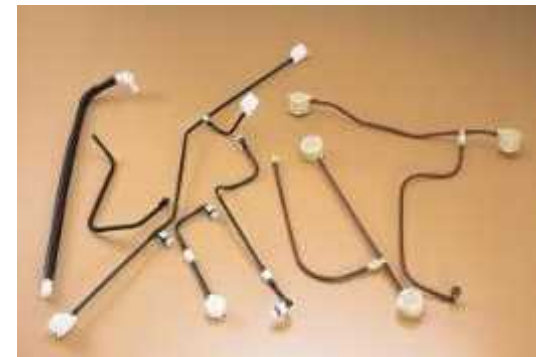
- 樹脂と金属のばねを組み合わせた製品。
- 取引先の多角化、拡大に貢献。(国内全てのカーメーカー、タンクメーカーと取引あり。)
- トップクラスのバルブ性能。
- 海外拠点での生産展開。(米・韓・タイ・中・インド・インドネシア)

### 燃料系部品の今後の展開

- 環境規制対応部品への積極的な取り組み
- 環境規制の高まる2輪向けバルブへの参入
- 海外拠点強化と生産の更なる拡大
- モジュール部品取組み強化



バルブ



エバポチューブ



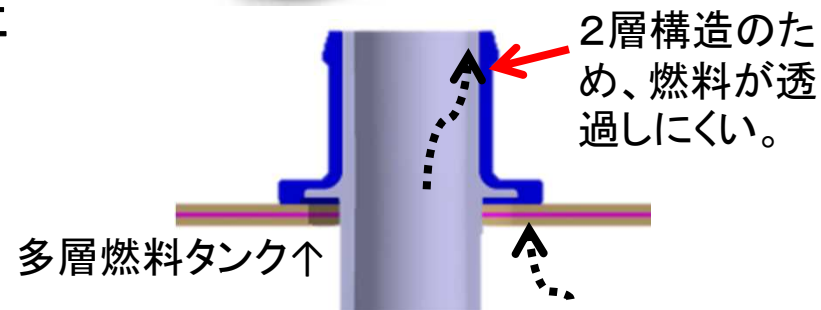
# 燃料系部品②

## 海外の「環境規制強化」に向けた製品開発

### 2K部品

- 欧・米・中で強まる「燃料透過規制」に対応した樹脂製燃料タンク向けバルブの開発。
- 当社で培った成形技術に応用し、低透過性に優れた2つの材質を高接着力で成形。
- 日本／韓国にて生産。
- 17年度、富士工場にてライン増設。
- トヨタ車採用に続き、他社カーメーカーからも受注予定。
- 今後、韓国を含め、中国・米国拠点でのグローバル生産拡大を計画。

2色成形して**燃料透過防止性能**を向上した部品。



### 搭載車種 **トヨタ**



プラド



サーフ(北米名4Runner)

# 開閉機構部品①

## 世界トップシェアの開閉機構部品

### 開閉機構部品の強み

- 各カーメーカーの多様なデザインに対応可能。
- 部品仕様を標準化することにより、グローバルで供給可能。
- 全ての海外拠点で生産展開。
- 海外拠点での設計・製造を行っており、顧客ニーズに合わせた最適設計サービス、最適供給対応が可能。



### 開閉機構部品の今後の展開

- 次世代製品の開発製造。
- 新規部品「スプリングクッション」の積極的なグローバル展開。(次項にてご説明)
- 中国市場を中心としたグローバル拡販展開。
- グローバル設計、生産技術強化。

世界シェア25%以上

ラッチ



世界シェア30%以上

エアダンパー



グローブボックス



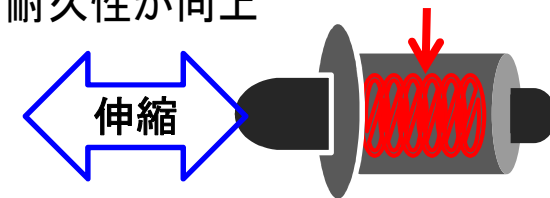
# 開閉機構部品②

## グローバル展開を目指す新たな製品開発

### スプリングクッション(グローブボックスに装着)

- 従来のゴム製部品から**ゴム+樹脂+ばねを組み合わせた部品**開発へ
  - ①ゴムのへたりによる走行中のガタガタ音回避
  - ②ボックスの操作性向上
  - ③ゴム反発力によるボックス変形の低減を可能に。
- 全車種に適用可能な部品のため、幅広い拡販が可能。
- 17年度、真岡工場にてライン増設。
- 北米を中心にグローバル展開を図る。
- 車内の静粛性要求が高まるEV/HEV車への展開を目指す。

コイルばねを内蔵することで、  
ゴム製品では出せない伸縮と  
耐久性が向上



### 搭載車種

- ダイハツ : ムーヴ/キャスト/イース
- トヨタ : C-HR
- ホンダ : CR-V (北米)
- SUBARU : インプレッサ

### 初の海外OEM受注

- FORD



LINCOLN NAVIGATOR

# 次世代車への対応

## カーメーカーの「EVシフト」への対応

- 当社の強み「**金属**と**樹脂**の組み合わせ」を次世代車開発にも最大限に活用。
- 急激に変化する次世代車開発を新たなチャンスと捉え、開発につなげる。
- 国内子会社(パイオラックスエイチエフエス)にて、EV部品増産体制強化。
- 設計部新商品開発グループにて、EV関連の商品開発を加速化。

### EV車 当社製品搭載例

日産  
ノート  
新型セレナ



駆動系部品 (減速機付属)



精密部品  
カバーターミナル



日産 リーフ



バッテリー



# 医療事業の現況と展望

---

---

2018年6月7日（木）  
（株）パイオラックスメディカルデバイス  
（PMD）  
代表取締役社長  
七海一貴

# 低侵襲治療

X線透視画像機器を駆使した

Image Guided Therapy

内視鏡を駆使した

Endoscopy Therapy

機  
器

カテーテル  
ガイドワイヤー  
ステント  
コイル  
バスケット他



低侵襲性

患者の  
肉体的苦痛

短期入院

長期入院

手術の  
安全性

手術の  
安全性

治療コスト  
低減

高い  
治療コスト



# “手技の標準化”を目的に開発した各製品



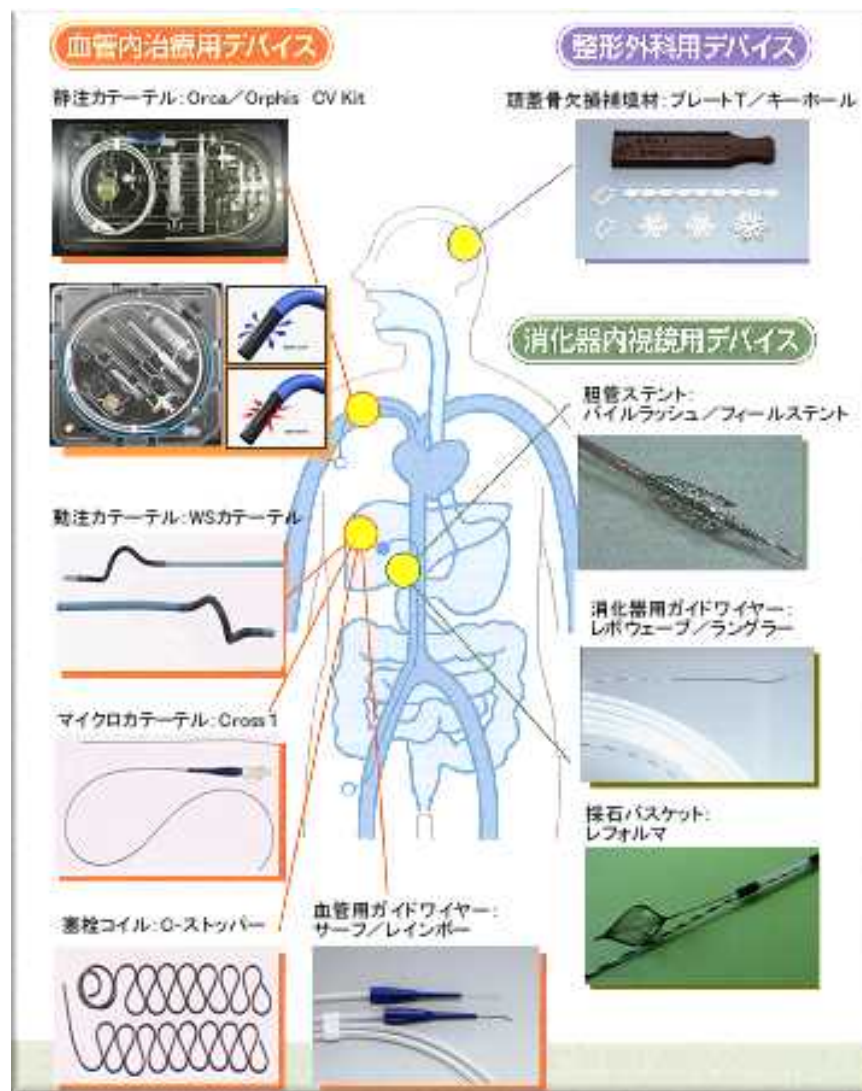
「**血管内治療**」

「**内視鏡治療**」

に使用するための、

- ・ガイドワイヤー
- ・カテーテル
- ・金属及び樹脂ステント
- ・塞栓用Pt.マイクロコイル
- ・金属製 骨プレートほか  
の開発

主に“**癌治療**”に使用



# 2017年度販売実績及び2018年度予算

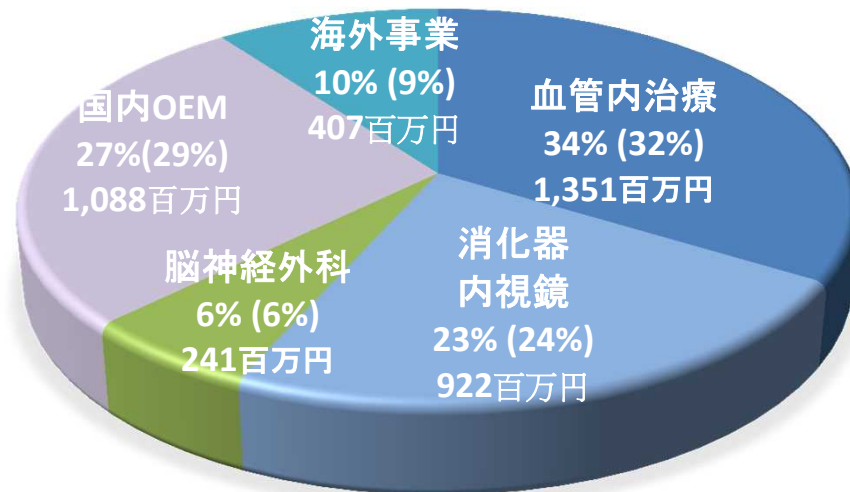
(単位:百万円)

2017年度	予算	実績	達成率
売上高	4,219	4,009	95.0%
営業利益	102	158	154.9%
2018年度	予算	伸長率	
売上高	4,109	2.5%	
営業利益	109	△31.0%	

(単位:百万円)

前年実績	伸長率
3,835	4.5%
18	777.8%

売上実績構成比率グラフ



※( )内の数字は昨年度の構成比率

〈2017年度 主な増収要因〉

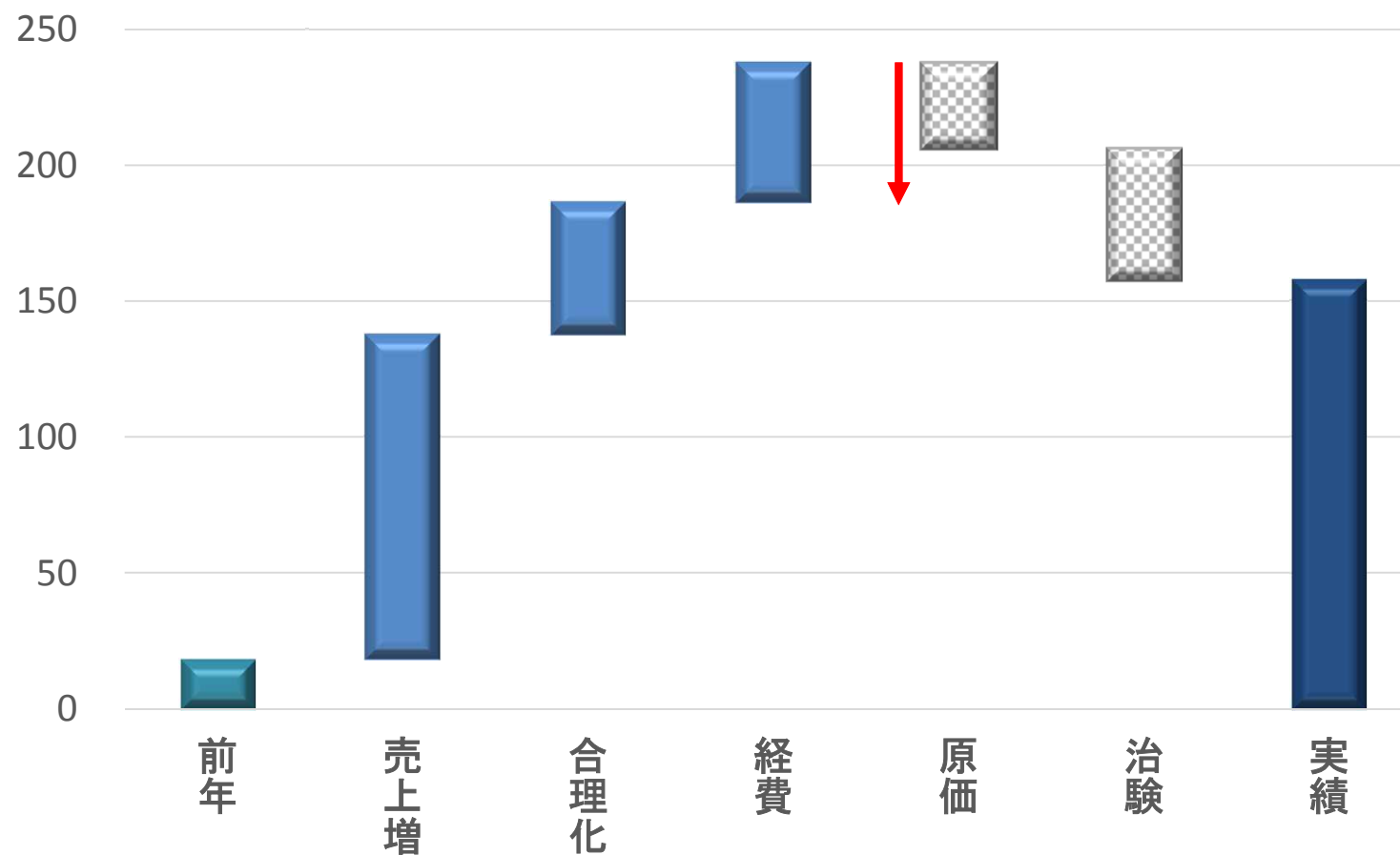
- ◆血管内治療用デバイスが好調
  - ・新製品マイクロバルーンの上市
- ◆海外輸出増
  - ・米国BARD社向け泌尿器内視鏡用ガイドワイヤ売上増
  - ・米国Merit Medical Systems社向けマイクロガイドワイヤの一部輸出開始

〈2018年度 主な増収見込要因〉

- ◆消化器内視鏡用デバイス上市
  - ・Newジャケットガイドワイヤ
  - ・乳頭切開高周波ナイフ
  - ・胆管金属ステント(経皮挿入用)

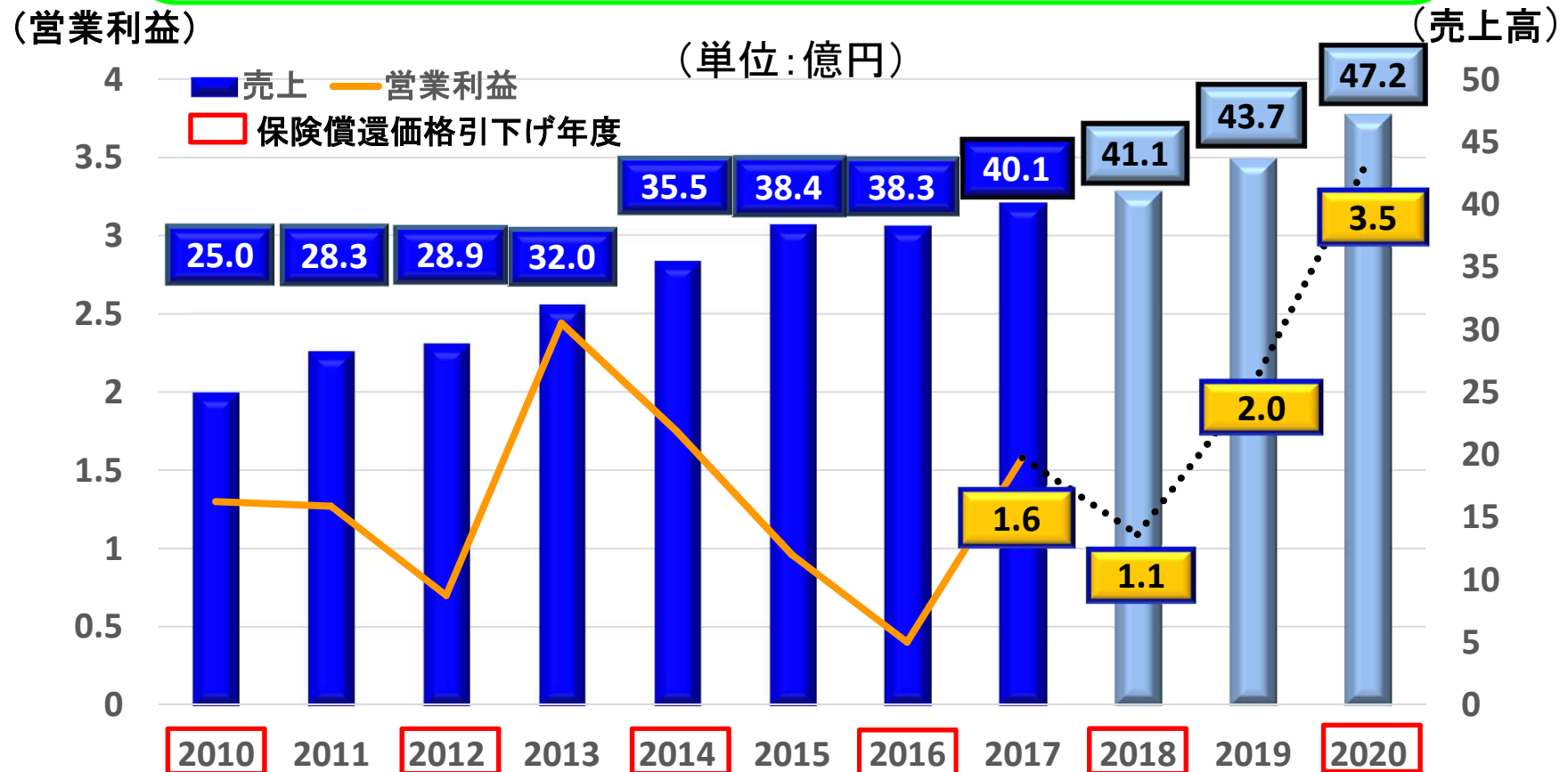
# 2017年度 営業利益の増減分析

(単位:百万円)



# 中期計画(2018-2020)

1. 特定市場へ差別化商品の投入(特定市場の差別化戦略)
2. 新商品導入スピードアップと新商品ラインナップ強化
3. 海外への進出強化
4. 国内販売ネットワーク強化





# 中期計画のポイント

## ◆国内展開

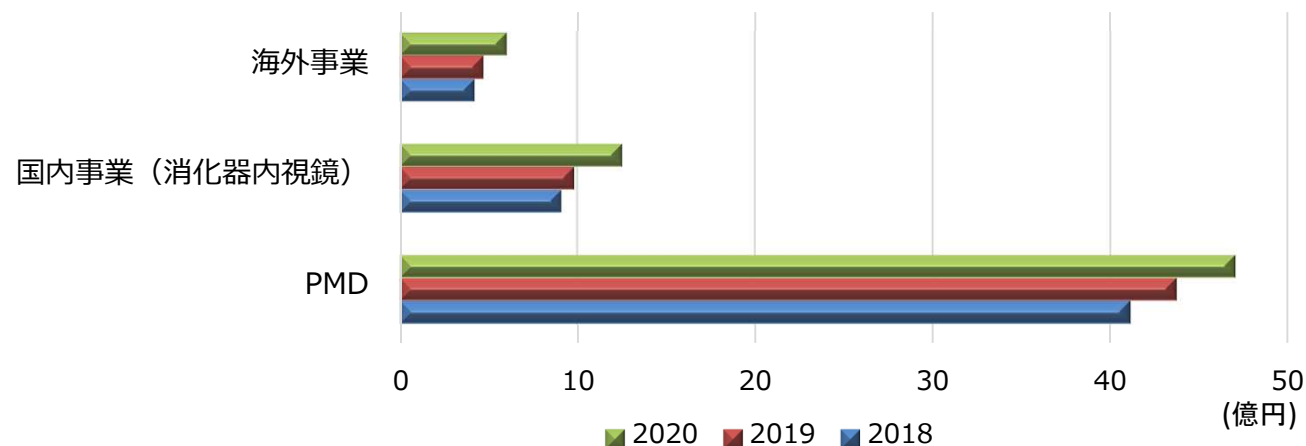
胆膵領域の消化器内視鏡治療用 New Devices へ注力

- ・ New Design 胆管用メタリックステント (2019 4Q~)
- ・ New Technology 消化器内視鏡用ガイドワイヤ(2019 2Q~)

## ◆海外展開

肝臓癌治療用マイクロカテーテル及びマイクロガイドワイヤー注力

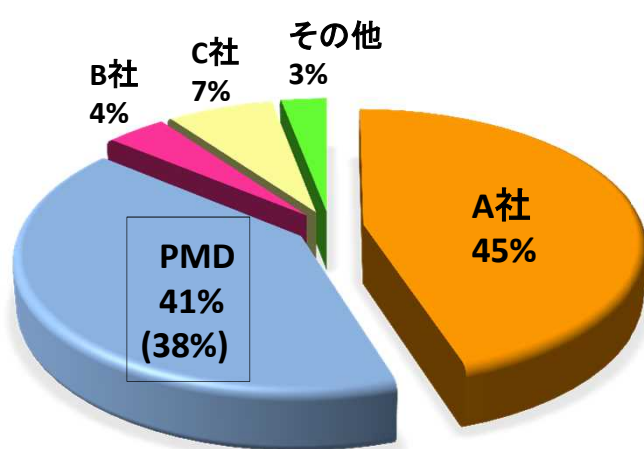
- ・ CE マーク取得完了による欧州・ASEAN域への拡販開始 (2018 3Q~)
- ・ 米国Merit Medical Systems社向けOEM供給の本格化(2019 1Q~)



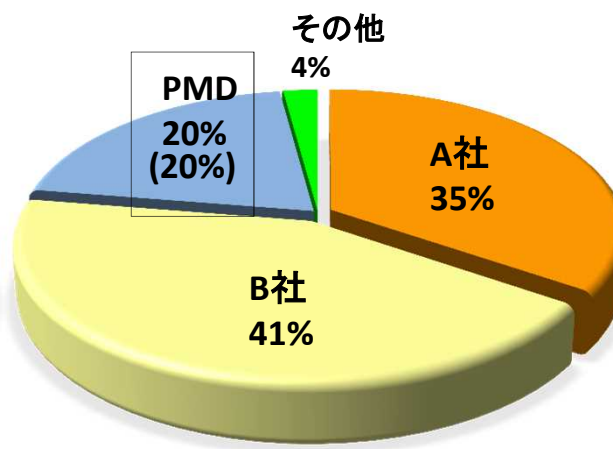
# 当社の得意分野(各種治療用ガイドワイヤ)

## ☆各種インターベンション(低侵襲治療)用ガイドワイヤの企画・開発・製造・販売

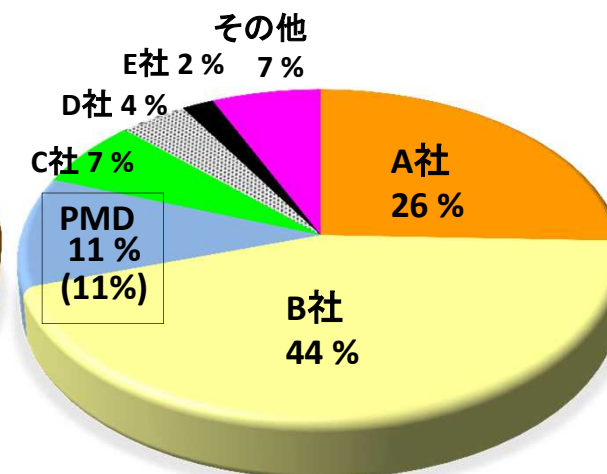
- ・消化器系・泌尿器系及び腹部血管内治療の領域まで幅広くカバーしている
- ・“親水性コーティング”及び“フッ素樹脂被覆”等の表面処理技術力を持つ



泌尿器内視鏡  
GW: 41%  
(113,000本/年: 2位)



消化器内視鏡  
GW: 20%  
(59,000本/年: 3位)



血管内腹部  
GW: 11%  
(12,139本 / 年: 3位)

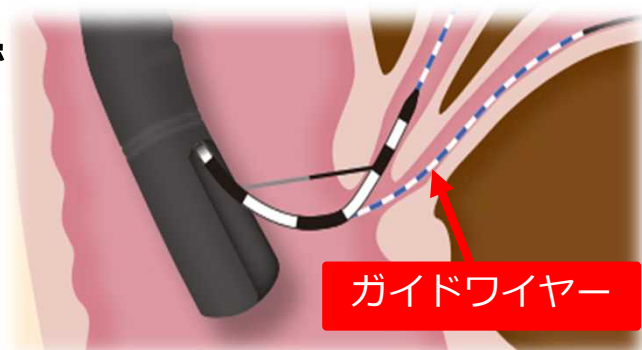
※()内は前年度のシェア率

新製品

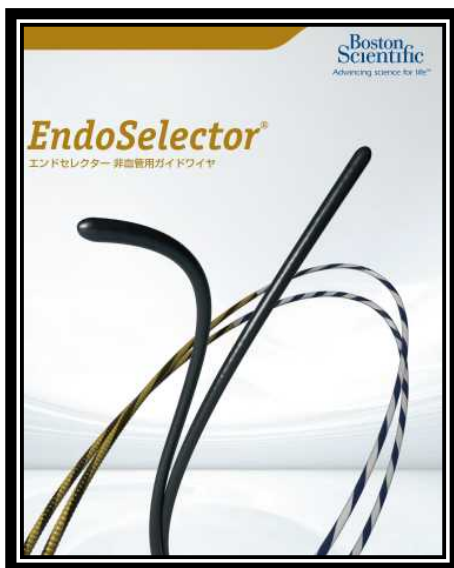
# EndoSelector<sup>®</sup> (エンドセレクトター)

低侵襲治療を代表する消化器内視鏡分野の治療で使用される医療機器（ガイドワイヤー）です。

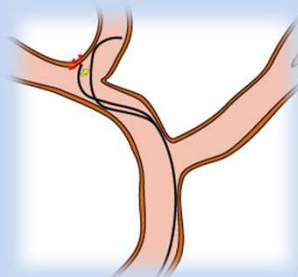
治療において重要である医療機器を確実に誘導させる為に必ず使用される製品です。



Interventional Endoscopistの為に開発した  
“New Generation GuideWire”



## 選択性



ガイドワイヤー先端部を任意に付形することで、選択性を更に高めます。

## 滑り性



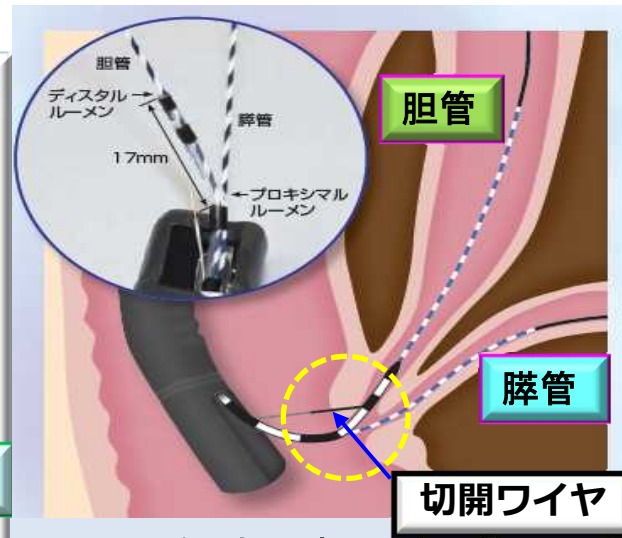
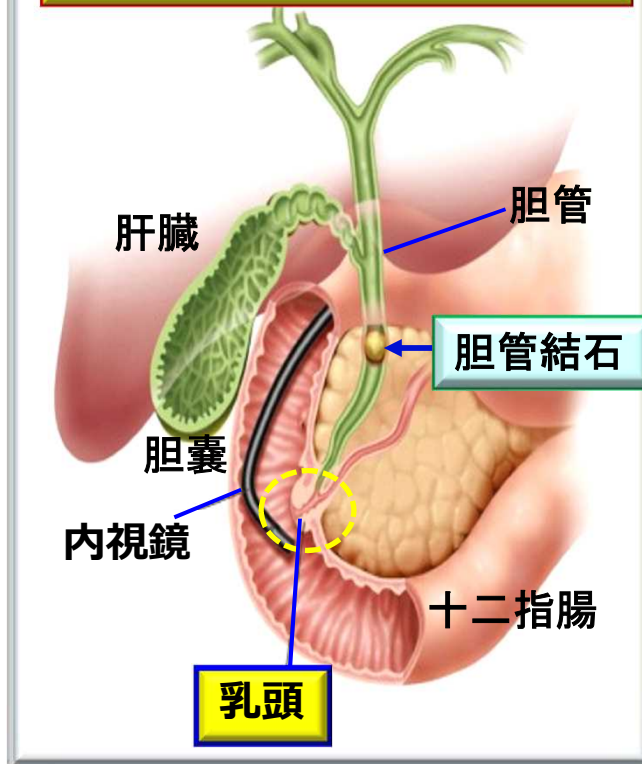
特殊フッ素樹脂を使用した構造により、摩擦抵抗を圧倒的に抑え、スムーズな手技を支えます。

新製品

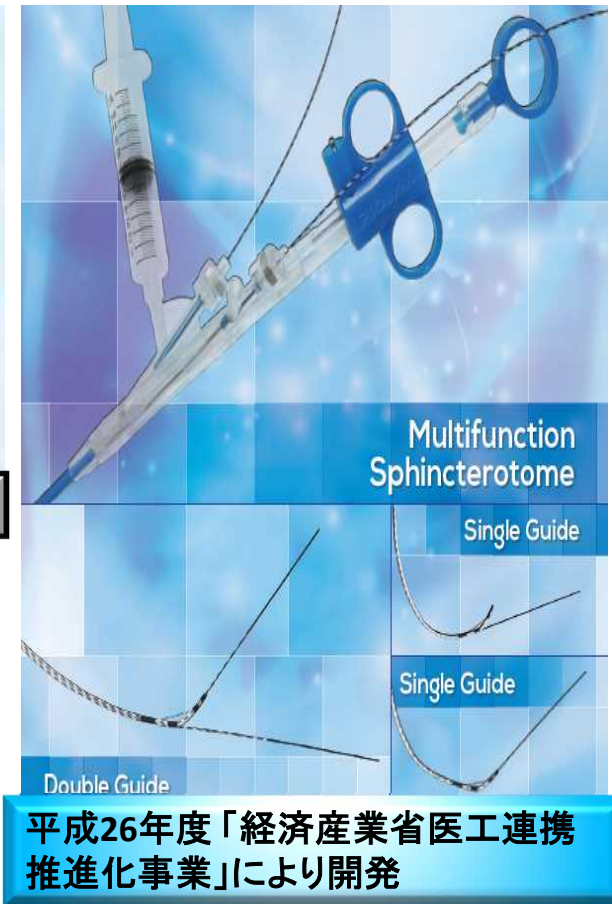
# MagicTome (マジックトーム)

主に胆管結石の患者さんの治療に使用される製品です。  
内視鏡にて結石を除去する際に、結石を回収し易くするために「乳頭」と呼ばれる胆管への入り口を切開するために使います。

乳頭から胆管への挿入は解剖により難易度が高い



ワイヤーを2本同時に入れて「マジックトーム」をしっかり固定した状態で弓矢の弓のような部分のワイヤーに通電して「乳頭」を高周波で切開します。  
この術式を「ワイヤー固定法」と言い、2本のワイヤーを同時に入れて簡便に行えるOnlyOne製品です。



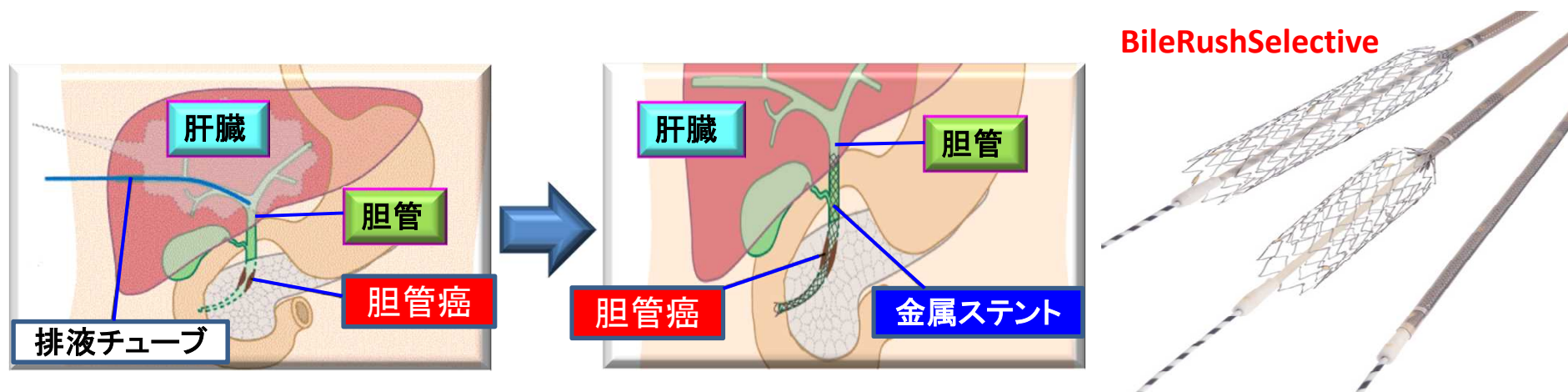
平成26年度「経済産業省医工連携推進化事業」により開発



新製品

# BileRush Selective (経皮経肝用)

癌による胆管狭窄の治療に用いられる製品です。  
皮膚から肝臓(胆管)へ留置されたチューブを利用し、胆管の狭窄部に  
形状記憶合金製の自己拡張型ステントを留置し、胆汁の流れを改善させます。



金属ステントを留置部に送り込むために必要なデリバリーシステムは、市場に現存する製品の中では外径が最も細径な**1.9mm/5.7Fr.**となっています。

細径デリバリーシステムの採用により、屈曲した部位への留置や複数本留置の手技的成功率の向上が見込まれる製品です。

# 製品プロモーション計画

事業グループ	開催期間	学会・研究会名	開催地	内容
血管内治療 (IVR)	5月31日(木)~6月2日(土)	第47回日本IVR学会総会 第13回国際IVRシンポジウムJSIR & ISIR	東京都	製品展示・セミナー
	6月28日(木)~6月29日(金)	第54回日本肝癌研究会	福岡県	製品展示
内視鏡治療 (消化器/胆膵)	5月10日(木)~5月12日(土)	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京都	製品展示
	5月11日(金)~5月12日(土)	第80回日本消化器内視鏡技師学会	東京都	製品展示
	9月27日(木)~9月28日(金)	第54回日本胆道学会学術集会	千葉県	製品展示・セミナー
	11月1日(木)~11月4日(日)	第26回日本消化器関連学会週間(JDDW)	兵庫県	製品展示・セミナー
	11月2日(金)~11月3日(土)	第81回日本消化器内視鏡技師学会	京都府	製品展示
サージカル (脳神経外科)	6月8日(金)~6月9日(土)	第46回日本小児神経外科学会	東京都	製品展示
	10月10日(水)~10月12日(金)	第77回日本脳神経外科学会学術総会	宮城県	製品展示
	3月21日(木)~3月23日(土)	第44回日本脳卒中学会学術集会 / STROKE2019	神奈川県	製品展示
海外事業	May 17-20, 2018	Global Embolization Symposium&Technology (GEST2018)	U.S.A	製品展示
	September 22-25, 2018	CIRSE 2018(欧州血管内治療学会)	ポルトガル	製品展示
	December 7-8 2018	GEST Asia 2018	香港	製品展示

# PMD VISION



「低侵襲治療」の手技を標準化できる医療機器の提供を通じて、世界の患者様を救える企業を目指します！

～低侵襲医療機器で社会に貢献します～



ご清聴ありがとうございました。

株式会社パイオラックス

(ご参考資料)

# 前提為替レート

(円)

	2016 平均レート	2017 平均レート	2018 計画前提
米ドル	109.54	112.07	105.00
英ポンド	147.48	145.37	145.00
ウォン	0.0941	0.0997	0.1000
バーツ	3.10	3.31	3.30
人民元	16.42	16.63	16.50
ルピー	1.62	1.71	1.60
ペソ	5.84	5.95	5.80
ルピア	0.0082	0.0083	0.0075

# 本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

